

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス チットチャット・スポーツ塾 1号店		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 15日		～ 2025年 2月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 15日		～ 2025年 2月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者が常に、活動内容を見る事ができる環境を整えている。	利用者の日常の様子や好きな遊び、感覚など多岐にわたったの情報を取り入れ、支援に反映できるように意識している。	保護者のクリアリングも行き、利用児童、保護者共に心地よく利用できるように努める。また三位一体(利用者、保護者、スタッフ)での関りを心掛けて支援を行う。
2	「野球クラブ」「スポーツクラブ」等、幅広い年代を集めた集団療育を毎月行っている。	ルールを意識した取り組み、他者とのコミュニケーションの向上等、集団活動に適応できる経験を培えるように意識して支援を行なっている。	ルールや内容など、より明確な提示を行い安心して集団の中で過ごせるように支援を行う。
3	近隣の公園を利用する事で、より広い場所を必要とする運動に取り組むことが出来る。	ボール運動や、自転車練習など室内では取り組むことが出来ない運動を経験できるように支援している。	利用児童や保護者のニーズを把握し、より濃密な支援を行えるように日々の業務に取り組む。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎サービスを行っていない。	保護者に活動を見てもらおう事を、大切に支援を行っている。	必要に応じて自立通所支援等を行う事で、利用の幅が広がると考える。
2	他の福祉サービスや事業所との連携が、まだ十分に確立できていない。	連携に当たる流れを確立できておらず、スムーズに連携を取る事が出来ていない。	他事業所や福祉サービスとの連携が取れるように、決まった日に連携を取り合うなど仕組みの確立に努める。
3	保護者同士での情報交換等を行う機会が、少なく感じる。	座談会や、保護者セミナーを行ってはいるが現在は、不定期での開催となっている。	年間計画で企画し、利用者が情報を取得しやすい環境づくりを行う。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童デイサービス チットチャット・スポーツ塾 1号店		公表日		令和7年 3月 1日		
		利用児童数	16人		回収数	63%	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%	0%	0%		安全に活動出来ることを第一に配慮しながら現状のスペースで可能な最大限のプログラムを提供して参ります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	100%	0%	0%		スタッフ間での研修や外部の研修に参加するなど知識技術の向上に努めて参ります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100%	0%	0%		フロアから量への段差を無くし車いすでの
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%	0%	0%		柔道量は安心安全に活動していただけるようメンテナンスや清掃も毎日定期的に行なっております。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	90%	10%	0%		モニタリングや日々の会話を大切にニーズに沿ったひとりひとりに応じた計画を作成して参ります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%	0%	0%		引き続き、ガイドラインに基づく支援内容等の設定を心掛けて参ります。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%	0%	0%		引き続き、丁寧な支援を心掛けて参ります。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%	0%	0%		お子様の状況や希望も受け入れながら目標や課題を考慮し、効果的に楽しく学べるプログラムを提供して参ります。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%		引き続き、丁寧な支援を心掛けて参ります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100%	0%	0%		引き続き、丁寧な支援を心掛けて参ります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	60%	20%	20%		地域交流は今のところ出来ておりませんが公園などに出掛けた際に地域のお子様と一緒に活動することがございます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%		引き続き、丁寧な説明を心掛けて参ります。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0%	0%		引き続き、丁寧な説明を心掛けて参ります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	90%	10%	0%		保護者座談会を開催したり同じ時間帯に保護者様が複数居られましたらお声掛けし会話ができるような環境設定が出来るよう心掛けて参ります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	100%	0%	0%		引き続き、丁寧な支援を心掛けて参ります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	80%	20%	0%		引き続き、丁寧な支援を心掛けて参ります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%	0%	0%		引き続き、丁寧な支援を心掛けて参ります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	80%	20%	0%		保護者座談会を開催したり同じ時間帯に保護者様が複数居られましたらお声掛けし会話ができるような環境設定が出来るよう心掛けて参ります。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%	0%	0%		引き続き、丁寧な支援を心掛けて参ります。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%	0%	0%			引き続き、丁寧な支援を心掛けて参ります
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	100%	0%	0%			引き続き、丁寧な支援を心掛けて参ります
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%	0%	0%			引き続き、個人情報の取り扱いには細心の注意を払います。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	90%	10%	0%			各種マニュアルは保護者席の机に配架しております。 避難経路マップは出入口扉に貼り付けておりますのでご確認下さいませ。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	80%	20%	0%			様々な災害を想定した避難訓練を半年に1度実施しております。 災害時に必要なヘルメットは活動フロアに緊急バッグは更衣スペースにいつでも持ち出せるよう置いております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%			引き続き、丁寧な支援を心掛けて参ります
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	90%	10%	0%			引き続き、丁寧な説明を心掛けて参ります
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%	0%	0%			引き続き、丁寧な支援を心掛けて参ります
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	100%	0%	0%			引き続き、丁寧な支援を心掛けて参ります
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%	0%	0%			引き続き、丁寧な支援を心掛けて参ります

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービス チットチャット・スポーツ塾 1号店		公表日		令和7年 3月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		子ども一人あたりおよそ2.47㎡の床面積を確保、更衣室兼カームダウンのスペースも設けている		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		児童指導員を常時3人以上、指導スタッフとして配置している		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		子どもが安心して過ごせるよう遊具等を整備し、心地良く過ごせる環境を作っている 玄関扉には段差が無く、バリアフリーになっている		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日全レッスン終了後に清掃を行い清潔を保つようにしている、レッスンに使用する道具等は棚や決められた場所に収納し、常に動きやすいスペースを確保している		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて、個別の空間になれる環境を設定することが出来る		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		全スタッフが同じシステム、同じ意図をもって支援にあたるように日々の店舗ミーティングおよび月一度の合同ミーティングなどで随時意見交換している		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向けアンケートを実施し、各項目に対する評価やご意見から業務改善に対応している		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		業務の開始前、終業後にはミーティングを行い、定期的に職員とのヒヤリングを行う環境づくりをしている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		随時、チットチャットのシステムを学ぶための見学者や研修者が全国から来塾され、また各支店からの研修なども実施しており第三者の視点で意見や感想をいただき、改善のヒントにしている		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月一回合同ミーティング時に講師を依頼しコミュニケーショントレーニングを重ねている また定期的に外部講師を招き研修を重ねている		
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		R7年度の公表に向け、作成を進めている		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		毎回、モニタリング時には保護者のご意見や利用児のニーズに合わせた計画書を作成できるように心掛けている		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		サービス担当者会議等を行い、指導者が共通理解のもと、サービスを行えるようにしている		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		指導前には必ず支援計画や指導記録等資料を確認し、目標に沿ったプログラムを提供している		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		指導中に、第三者の指導者が保護者様と会話するなど、日々の行動観察に努めている		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		利用者の支援計画には、本人の希望や保護者のニーズなどを考慮した支援内容を設定している		

支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		全利用者の指導アプローチをスタッフ全員で共有する会話を毎日行っている		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		指導者がプログラムを決めず、子ども達の自主性主体性からプログラムを提供するサービススタイルなので固定化されない		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		保護者へのアンケート調査や聞き取りをもとに個別指導、ペア指導、少人数集団指導の希望にそって指導計画を立案している		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		必ずその日の利用する子ども達の指導担当を割り振り、リードとサブなどの役割分担を確認している		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日必ず終業後に指導スタッフそれぞれが感想、気付き、問題点などについて申し送りをし共有化している		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎回指導記録を記入し、スタッフ全員が閲覧できるようにクラウド化している		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6ヶ月に一度、アンケート調査ならびに聞き取り調査など保護者との会話の時間をつくっている また必ず保護者が指導現場に同席されるので、毎回の利用で意見交換をしている		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		可能な限り児童発達支援管理責任者が参加している		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		現在、医療的ケアの必要な児童の利用はないが、必要に応じて関係機関との連携をとる体制は整えている		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		同席される保護者様から随時情報提供していただいている また所属されている施設からの見学も多数あり、支援の理解を共有している		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		同席される保護者様から随時情報提供していただいている また所属されていた施設からの見学も多数あり、支援の理解を共有している		
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			必要になった場合に検討していきたい	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			障がいのない子どもとの交流はあまり設けていない、しかし障がいのある子の運動・スポーツに関する指導方法を啓発するための書籍の出版、指導者養成講座の開催、見学・研修の受け入れなどの交流活動は実施している、また店舗合同のイベント（野球レッスン）を開催し交流を図っている		
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			送迎を担っていただき、かつ指導場面に同席されている保護者の方とは毎回の利用の際に充実した意見交換を行っている		

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		運動・スポーツに関する相談だけではなく、運動・スポーツを利用した子どもさんの成長に役立つ情報は頻繁にお伝えしている また家庭で行えるプログラムの提供を行っている	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		毎回の契約時に適切に説明し理解を得られるようにしている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		子どもや保護者の意思の尊重し計画書を作成している	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		モニタリングの際得られた情報よりモニタリング報告書を作成し、それに基づいて支援計画書を作成していることを説明し、保護者様に計画書の内容を確認していただいた上で同意を得ている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		経験豊富な障がい児スポーツ指導員、元支援学校教員、保育士、児童指導員を中心に随時相談や適切な助言を行っている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		定期的に子育てに役立つ講演会などを外部講師に依頼し保護者の方へ紹介、参加を促している	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		児童発達支援管理責任者を中心に、相談および申入れに対しては即時対応するように徹底している	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月1回の通信誌の発行ならびにHP、LINE、フェイスブックによる情報発信をしている	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		必ず施錠できるロッカーに保管している	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		毎回の利用時に必ず保護者との直接会話の時間をつくっている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		子育てや障害児のスポーツ指導法に関する講習会、研修会を図児実施し誰もが参加受講できる催しを開催している	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		ファイリングし、いつでも閲覧できるよう訓練指導室に配置している	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し、必要な訓練を実施している	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		契約時や6ヶ月に一回のモニタリング時、毎利用時の保護者との会話の際に身体状況や服薬等の確認を行っている	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		おやつ、食事の提供は行っていない	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援を心掛けている	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		掲示板に避難経路や避難場所を貼りだす事で、周知できるようにしている	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		データにて保管しており、自店舗また他店舗のすべてのスタッフがいつでも閲覧できるようにしている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		必ず虐待に関する研修会にスタッフを参加させ、合同ミーティングで全スタッフに伝える時間を設けている	

	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○	同伴する保護者がいるので、身体拘束が必要な利用者はいない また状況に応じ、拘束が必要な場合は事前に保護者に同意を取り、支援計画書に示す事としている	
--	----	--	---	--	--

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス チットチャット・スポーツ塾 1号店		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 15日		～ 2025年 2月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	110名	(回答者数) 65名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 15日		～ 2025年 2月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者が常に、活動内容を見る事ができる環境を整えている。	利用者の日常の様子や好きな遊び、感覚など多岐にわたったの情報を取り入れ、支援に反映できるように意識している。	保護者のクリアリングも行き、利用児童、保護者共に心地よく利用できるように努める。また三位一体(利用者、保護者、スタッフ)での関りを心掛けて支援を行う。
2	「野球クラブ」「スポーツクラブ」等、幅広い年代を集めた集団療育を毎月行っている。	ルールを意識した取り組み、他者とのコミュニケーションの向上等、集団活動に適應できる経験を培えるように意識して支援を行なっている。	ルールや内容など、より明確な提示を行い安心して集団の中で過ごせるように支援を行う。
3	近隣の公園を利用する事で、より広い場所を必要とする運動に取り組むことが出来る。	ボール運動や、自転車練習など室内では取り組むことが出来ない運動を経験できるように支援している。	利用児童や保護者のニーズを把握し、より濃密な支援を行えるように日々の業務に取り組む。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎サービスを行っていない。	保護者に活動を見てもらおう事を、大切に支援を行っている。	必要に応じて自立通所支援等を行う事で、利用の幅が広がると考える。
2	他の福祉サービスや事業所との連携が、まだ十分に確立できていない。	連携に当たる流れを確立できておらず、スムーズに連携を取る事が出来ない。	他事業所や福祉サービスとの連携が取れるように、決まった日に連携を取り合うなど仕組みの確立に努める。
3	保護者同士での情報交換等を行う機会が、少なく感じる。	座談会や、保護者セミナーを行ってはいるが現在は、不定期での開催となっている。	年間計画で企画し、利用者が情報を取得しやすい環境づくりを行う。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童デイサービス チットチャット・スポーツ塾 1号店
------	----------------------------

公表日 2025 年 3 月 1 日

利用児童数 110人 回収数 59%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	95.4%	4.6%	0.0%		・1レッスンあたりの人数を抑えていただいているので、子供がかいっばい動いても危なくないです。 ・ボールなど隣ですと集中していたら当たりそうになる事がある。 ・広くて綺麗です。	ご意見ありがとうございます。 安全に活動できる事を第一に配慮しながら現状のスペースを活かし、最大限のプログラムを提供して参ります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	95.4%	4.6%	0.0%		いつも同じ先生でもなくいつも知らない先生でもなく見守られている実感をもてます	ご意見ありがとうございます。 提供サービスの質の向上へと繋げてまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	92.3%	7.7%	0.0%		・肢体不自由のお子さんと一緒に過ごすことはいいですが、事業所の目の前に大きいエレベーターがあるので、どんな子でも通いやすいと思います。 ・自転車とめにくいし、エレベーターつかいにくい、けどあの建物の問題だからチットさんが、の話ではないです。	ご意見ありがとうございます。 自転車置き場は置きやすい場所への変更依頼しておりますが空きが出ないのが現状となっておりますご不便をお掛けしております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	96.9%	3.1%	0.0%		・大きな一つの部屋になっていて死角がないので、安心です。	安心して活動できるように努めてまいります。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	95.4%	3.1%	1.5%		・子供一人一人の特性をつかむまで、何度も普段の家での様子などもヒアリングしてくれました。活動中の様子と合わせて、得意と苦手を見つけてくれています。 ・細々としたこちらの意見も即対応してくださいます。 ・できる事の少し上をプログラムに入れて引き出してくれている。思えない時は、スタッフの方と意見を交換できるので良いと感じます。 ・担当者による	ご意見ありがとうございます。 全てのスタッフにおいて質の高い支援を行えるように努めてまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	96.9%	3.1%	0.0%			
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100.0%	0.0%	0.0%		・こちらが何となく伝えた内容を具体的な形に落とし込んで、文字化してくれるので、助かります。 ・以前より成長していることなど、報告してくださるので、助かっています。	お子様の成長を鑑みより良い支援や計画書の作成が出来るよう努めてまいります。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	95.4%	4.6%	0.0%		・本人支援はもちろん、家族支援に力を入れている事業所さんです。スタッフの方、みなさん話しやすいです。 ・それぞれの利用料金がだいたいいくらぐらいか教えてください。上限額が出ていますが、請求されたときに、数千円で済むのか1万円以上になるのか、見直しを持っていただきたい。	ご意見ありがとうございます。 利用料金の説明等契約時に説明させていただいておりますが必要に応じて詳細な説明が出来るよう努めて参ります。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	93.8%	6.2%	0.0%			
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	92.3%	7.7%	0.0%		家族支援プログラムなども多く企画してくれています。 担当するスタッフさんが固定されないし、本人や親の希望を取り入れてくださるのでその時その時に応じていただければありがたいです。	ご意見ありがとうございます。 引き続き、丁寧な支援を心掛けて参ります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	36.9%	33.8%	29.2%		この質問がよく分かりませんが、グループレッスンなどで色々な方とレッスン出来ています。 必要ないかなと思います。	引き続き、丁寧な支援を心掛けて参ります。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	98.5%	1.5%	0.0%			

保護者への説明等	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	95.4%	4.6%	0.0%		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	95.4%	4.6%	0.0%		以前のセミナー、本当に良かったです。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達について共通理解ができていると思いますか。	93.8%	6.2%	0.0%		子供の支援をしている間、別のスタッフの方が保護者に話しかけてくれて、普段の様子や困り事などを聞いてくれます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	92.3%	7.7%	0.0%		・こちらも普段の活動中に話を聞いてくれます。 ・話しやすいがためについついおしゃべりしてしまい、申し訳ないです。とりとめの話も聞いていただきありがとうございます
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	95.4%	3.1%	1.5%		・こちらの話を否定することは一切ありません。同じ目線で、子供のために何をしようか、と考えてくれてます。 ・担当者による
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	72.3%	23.1%	4.6%		・きょうだいいないからなんとも。たまに一緒にタイミングになる時は本人さんよりきょうだいの方が積極的に参加していて、きょうだいへのフォロー？と思わなくもないです。 ・他の保護者と交流の場がありません
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	93.8%	6.2%	0.0%		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	95.4%	4.6%	0.0%		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	93.8%	6.2%	0.0%		・インスタ、LINEで定期的に情報共有されています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	93.8%	6.2%	0.0%		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	83.1%	16.9%	0.0%		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	50.8%	49.2%	0.0%		・訓練は行われていますが、うちの子がたまたま参加したことがないです。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	92.3%	7.7%	0.0%		
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	84.6%	15.4%	0.0%		・怪我をしたことがないです。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	98.5%	1.5%	0.0%		・ひとりで行ける位に安心感を持っています
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	93.8%	6.2%	0.0%		・あたりまえのようにチットさんにいけると思っていて、行けないとなるとなんで？と言われるほどに気に入ってはります。 ・その時々ですね ・大変楽しみにしています
	29	事業所の支援に満足していますか。	95.4%	4.6%	0.0%		・親子で楽しく行かせてもらっています。 ・いつもいつもありがとうございます。 ・いろいろな情報などをお聞き出来ており大変感謝しております。 ・親子で心のオアシスです。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービス チットチャット・スポーツ塾 1号店				公表日	令和7年3月1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		子ども一人あたりおよそ2.47㎡の床面積を確保、更衣室兼カームダウンのスペースも設けている		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		児童指導員を常時3人以上、指導スタッフとして配置している		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		子どもが安心して過ごせるよう遊具等を整備し、心地良く過ごせる環境を作っている 玄関扉には段差が無く、バリアフリーになっている		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日全レッスン終了後に清掃を行い清潔を保つようにしている。レッスンに使用する道具等は棚や決められた場所に収納し、常に動きやすいスペースを確保している		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて、個別の空間になれる環境を設定することが出来る		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		全スタッフが同じシステム、同じ意図をもって支援にあたるように日々の店舗ミーティングおよび月一度の合同ミーティングなどで随時意見交換している		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向けアンケートを実施し、各項目に対する評価やご意見から業務改善に対応している		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		業務の開始前、終了後にはミーティングを行い、定期的に職員とのヒヤリングを行う環境づくりをしている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		随時、チットチャットのシステムを学ぶための見学者や研修者が全国から来塾され、また各支店からの研修なども実施しており第三者の視点で意見や感想をいただき、改善のヒントにしている		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月一回合同ミーティング時に講師を依頼しコミュニケーショントレーニングを重ねている また定期的に外部講師を招き研修を重ねている		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○	R7年度の公表に向け、作成を進めている		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		毎回、モニタリング時には保護者のご意見や利用児のニーズに合わせた計画書を作成できるように心掛けている		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		サービス担当者会議等を行い、指導者が共通理解のもと、サービスを行えるようにしている		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		指導前には必ず支援計画や指導記録等資料を確認し、目標に沿ったプログラムを提供している		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		指導中に、第三者の指導者が保護者様と会話するなど、日々の行動観察に努めている		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		利用者の支援計画には、本人の希望や保護者のニーズなどを考慮した支援内容を設定している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		全利用者の指導アプローチをスタッフ全員で共有する会話を毎日行っている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		指導者がプログラムを決めず、子ども達の自主性主体性からプログラムを提供するサービススタイルなので固定化されない	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		保護者へのアンケート調査や聞き取りをもとに個別指導、ペア指導、少数集団指導の希望にそって指導計画を立案している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		必ずその日の利用する子ども達の指導担当を割り振り、リードとサブなどの役割分担を確認している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日必ず終業後に指導スタッフそれぞれが感想、気付き、問題点などについて申し送りをし共有化している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎回指導記録を記入し、スタッフ全員が閲覧できるようクラウド化している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6ヶ月に一度、アンケート調査ならびに聞き取り調査など保護者との会話の時間をつくっている また必ず保護者が指導現場に同席されるので、毎回の利用で意見交換をしている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		ガイドラインに基づいて支援を行っている	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		活動の種目を自己選択できるような問いかけを行いながら支援を行っている		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		可能な限り児童発達支援管理責任者が参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		現在、医療的ケアの必要な児童の利用はないが、必要に応じて関係機関との連携をとる体制は整えている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		送迎は行っていない 学校との年間計画や行事の意見交換、下校時間の把握は行っていない	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		同席される保護者様から随時情報提供していただいている また所属されていた施設からの見学も多数あり、支援の理解を共有している	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		サポートブック等、必要に応じ情報の提供を行っている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		必要になった場合に検討していきたい	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		障がいのない子どもとの交流はあまり設けていない、しかし障がいのある子の運動・スポーツに関する指導方法を啓発するための書籍の出版、指導者養成講座の開催、見学・研修の受け入れなどの交流活動は実施している、また店舗合同のイベント（野球レッスン）を開催し交流を図っている	
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		出来る限り参加している		

保護者への説明等	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎を担っていただき、かつ指導場面に同席されている保護者の方とは毎回の利用の際に充実した意見交換を行っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		運動・スポーツに関する相談だけでなく、運動・スポーツを利用した子どもさんの成長に役立つ情報は頻繁にお伝えしている また家庭で行えるプログラムの提供を行っている	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		毎回の契約時に適切に説明し理解を得られるようにしている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		こどもや保護者の意思の尊重し計画を作成している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		モニタリングの際得られた情報よりモニタリング報告書を作成し、それに基づいて支援計画書を作成していることを説明し、保護者様に計画書の内容を確認していただいた上で同意を得ている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		経験豊富な障がい児スポーツ指導員、元支援学校教員、保育士、児童指導員を中心に随時相談や適切な助言を行っている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○		定期的に子育てに役立つ講演会などを外部講師に依頼し保護者の方へ紹介、参加を促している	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		児童発達支援管理責任者を中心に、相談および申し入れに対しては即時対応するように徹底している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月1回の通信誌の発行ならびにHP、LINE、フェイスブックによる情報発信をしている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		必ず施錠できるロッカーに保管している	
非常時等の対応	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		毎回の利用時に必ず保護者との直接会話の時間をつくっている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		子育てや障害児のスポーツ指導法に関する講習会、研修会を図児実施し誰もが参加受講できる催しを開催している	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		ファイリングし、いつでも閲覧できるよう訓練指導室に配置している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し、必要な訓練を実施している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時や6ヶ月に一回のモニタリング時、毎利用時の保護者との会話の際に身体状況や服薬等の確認を行っている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		おやつ、食事の提供は行っていない	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援を心掛けている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		掲示板に避難経路や避難場所を貼りだす事で、周知できるようにしている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		データにて保管しており、自店舗または店舗のすべてのスタッフがいつでも閲覧できるようにしている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		必ず虐待に関する研修会にスタッフを参加させ、合同ミーティングで全スタッフに伝える時間を設けている	

	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○	同伴する保護者がいるので、身体拘束が必要な利用者はいない また状況に応じ、拘束が必要な場合は事前に保護者に同意を取り、支援計画書に示す事としている	
--	----	---	---	--	--